

1 次の文の文節や連文節の対応を整えて、読みやすくなるように文を書き直そう。

① 私の趣味は、海外のドラマや映画を見ます。

② 僕は、山田さんの提案が最も実現可能なものに思える。

③ 試合のとき、僕が心がけているのは、自分の役割を意識してプレーする。

2 次の文を、それぞれ A、B に示した意味で解釈できるように、読点を打ったり、文節の順序を入れ替えたりして書き直そう。

① 私は急いで出かけようとする妹を呼び止めた。

A 急いでいるのは妹だという解釈。

B 急いでいるのは私だという解釈。

② 昨日母が焼いたケーキを祖母の家に届けた。

A 昨日母がケーキを焼いたという解釈。

B 昨日祖母の家にケーキを届けたという解釈。

3 次の文の——線部の呼応の副詞に対応する言葉を入りこめ、に入れ、()に合う内容を考えて書こう。

① もし夢がかなう

② まるで太陽の

1 次の文の文節や連文節の対応を整えて、読みやすくなるように文を書き直そう。

① 私の趣味は、海外のドラマや映画を見ます。

(例) 私の趣味は、海外のドラマや映画を見ることです。
海外のドラマや映画を見ることが、私の趣味です。

② 僕は、山田さんの提案が最も実現可能なものに思える。

(例) 僕には、山田さんの提案が最も実現可能なものに思える。
僕は、山田さんの提案が最も実現可能なものだと思う。

③ 試合のとき、僕が心がけているのは、自分の役割を意識してプレーする。

(例) 試合のとき、僕が心がけているのは、自分の役割を意識してプレーすることだ。
試合のとき、僕は、自分の役割を意識してプレーすることを心がけている。

2 次の文を、それぞれA、Bに示した意味で解釈できるように、読点を打ったり、文節の順序を入れ替えたりして書き直そう。

① 私は急いで出かけようとする妹を呼び止めた。

A 急いでいるのは妹だという解釈。

(読点を打つ場合の例) 私は、急いで出かけようとする妹を呼び止めた。
(文節の順序を入れ替える場合の例) 急いで出かけようとする妹を私は呼び止めた。

B 急いでいるのは私だという解釈。

(読点を打つ場合の例) 私は急いで、出かけようとする妹を呼び止めた。
(文節の順序を入れ替える場合の例) 私は出かけようとする妹を急いで呼び止めた。

② 昨日母が焼いたケーキを祖母の家に届けた。

A 昨日母がケーキを焼いたという解釈。

(読点を打つ場合の例) 昨日母が焼いたケーキを、祖母の家に届けた。
(文節の順序を入れ替える場合の例) 母が昨日焼いたケーキを祖母の家に届けた。

B 昨日祖母の家にケーキを届けたという解釈。

(読点を打つ場合の例) 昨日、母が焼いたケーキを祖母の家に届けた。
(文節の順序を入れ替える場合の例) 母が焼いたケーキを昨日祖母の家に届けた。

3 次の文の——線部の呼応の副詞に対応する言葉を [] に入れ、() に合う内容を考えて書こう。

① もし夢がかなう

(例) なら / とすれば

世界中を旅してみたい。

② まるで太陽の

(例) ような
ように

ひまわりが風に揺れている。
明るい人に出会った。